

科目名	専門演習Ⅱ SeminarⅡ						
科目担当者	矢鋪 渉 YASHIKI Wataru						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	① 民法（債権法・物権法）の知識を身につける。 ② テキストの各分野を約 10 頁ごとに各々分担して、解説をおこなう。 ③ 美術館を見学し、美術作品を鑑賞。作成時の時代背景や作品の構成などについても鑑賞する。						
授業の到達目標	① 民法の理解力を身につける。 ② 学習した単元については他人に説明できるレベルの理解力を身につけることをめざす。 ③ 過去問における関係図を描き、論点を整理することができる。 ④ 民事法の条文を音読し、関係図を描ける。						
業計画・内容	1	債務不履行・損害賠償請求 K12	16	根抵当権 K28			
	2	債務不履行・解除権・危険負担 K13・K14	17	質権・先取特権 K29			
	3	契約不適合責任 K15	18	売買契約 K30			
	4	債権の消滅・弁済 K16	19	賃貸借契約・借地借家法 K31			
	5	債権の消滅・相殺 K17	20	賃貸借の存続期間（借地借家法を含む）K32			
	6	債権譲渡 K18	21	賃貸不動産の譲渡と賃貸人の地位の移転 K33			
	7	多数当事者の債権債務 K19	22	敷金 K34			
	8	保証債務 K20	23	借地権（借地借家法）K35			
	9	相隣関係 K21	24	裁判所による許可等 K36			
	10	共有 K22	25	借家権（借地借家法）K37			
	11	地上権・地役権 K23	26	定期建物賃貸借 K38			
	12	抵当権 K24	27	その他の契約 K39			
	13	抵当権者の順位 K25	28	請負契約 K40			
	14	抵当不動産の賃借人 vs 競落人 K26	29	不法行為・不当利得 K41			
	15	法定地上権 K27	30	相続 K42			
	業外学修 (事前学修)	① 分担する単元の動画を確認すること。音読も並行しておこなう（1時間）。					
授業外学修 (事後学修)	①発表および質疑応答をおこなった単元について、再度読み込む。また、関連条文の確認をおこなう。（2時間） ②課題の関係図を描き、解答する（1時間）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	①分担した単元の発表内容の充実度。質疑応答の態度 ②単元発表者に対する質問の内容、態度				70% 30%	①② ②③	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	「動画で学べる宅建士テキスト 2026」（株）翔泳社、ポケット六法（e-Gov 利用可）						
参考文献	授業の中で紹介						
その他	できるだけ研究発表を聞き、質疑応答に参加すること。質問することができるように、前もってテキストを読んで、発表内容を予習しておくこと。						